

平成27年度指定管理者モニタリングシート（平成26年度実績）

1 施設等の概要				
施設名	東久留米市立生涯学習センター		所管課	教育部生涯学習課（内線3212）
指定管理者名	JN共同事業体（株式会社JTBコミュニケーションズ、野村不動産パートナーズ株式会社）		指定管理者所在地	東京都品川区上大崎2-24-9
指定期間	平成27年4月1日～32年3月31日	利用料金制の有無	有・無	他自治体での指定管理者実績 中野区もみじ山文化センター、西東京市保谷こもれびホール、東大和市市民会館ハミングホール
施設の設置目的	市民（子どもから成人まで様々な世代）の地域の文化・生涯学習の促進及び振興を図る。			
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	施設の適正な維持管理・環境改善の実施 ホール事業（落語・クラシック音楽・ダンス等）を年10回程度開催。また、親子や子どものワークショップ、成人講座を多数開催している。			

2 モニタリング評価		
評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	<公平性の確保>使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	5 (4) 3 2 1
市民サービスの向上	<事業等運営>新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	5 (4) 3 2 1
	<施設維持管理>設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	5 (4) 3 2 1
	<情報管理>個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	5 4 (3) 2 1
	<危機管理>事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	5 4 (3) 2 1
	<市民協働>地域住民と一体化した取り組みがなされているか	5 (4) 3 2 1
	<ノーマライゼーション>障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	5 4 (3) 2 1
	<モニタリング>利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	5 (4) 3 2 1
経費の節減など効率的な運営	<コストパフォーマンス>サービス水準を維持しつつ、利用者に適正な運営をしているか	5 (4) 3 2 1
	<収支の改善>利用者の増加を図る等、収支状況の改善に向けた取り組みをしているか	5 4 (3) 2 1
	<経済・効率性>経費節減のための工夫など、効率的な運営の仕組みが確立されているか	5 (4) 3 2 1
	<経費の妥当性>管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	5 (4) 3 2 1
	<再委託業務>再委託されている業務の範囲は適切か	5 (4) 3 2 1
	<環境対策>市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	5 (4) 3 2 1
安定的な施設サービスの継続的な提供	<サービスの信頼度>施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	5 (4) 3 2 1
	<職員の専門性、配置体制>施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	5 4 (3) 2 1
	<研修体制>職員の指導育成、研修体制は適正であるか	5 4 (3) 2 1
	<労働条件>職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	5 4 (3) 2 1
	<経営基盤>指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	5 (4) 3 2 1
施設の特長によるサービス提供	<施設の特長>施設の設置目的の達成等、その施設ならではの特色を活かした運営がなされているか	5 (4) 3 2 1
合計点数		73点/100点

3 決算額及び利用状況											
市決算額	24年度	25年度	26年度	指定管理料 対前年度増減		今期指定管理者選定 前3ヶ年の 平均決算額	利用人数(件)数			利用人数(件)数 対前年度比増減	
				26年度-25年度	25年度-24年度		24年度	25年度	26年度	26年度/25年度	25年度/24年度
指定管理料	83,291,000	83,161,000	85,538,000			83,996,667					
使用料	4,614,015	3,735,340	8,312,845				163,875	158,067	158,793	100.5%	96.5%
成果配分金	163,493	836	1,908,733	2,377,000	-130,000						

※指定管理料欄及び3ヶ年の平均決算額欄:指定管理者制度導入1期目の施設については直営時3ヶ年の決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

4 現状と課題及び次年度以降に向けた方向性	
<p>* 2の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用料の見直しに伴い、利用件数については一時的に減少しているが、安定した事業内容、利用者数が保たれており、市民の生涯学習の拠点としての認知度も向上していると思われる。また、ホール事業については、成人・親子など幅広い事業を展開し好評を博している。夏休み期間中に子ども向けワークショップを開催するなど、気軽に子どもが参加できるよう創意工夫もされている。 施設の管理については、開館から30年を迎え、維持管理（舞台・外回りなど）にも限界が来ていることは事実であるが、専門の技術者が常駐し、細やかな点検を繰り返し大事に至らないよう維持管理に努めている。 27度からは2期目の指定管理者として引き続き管理運営を行うことになるため、1期目以上の集客力アップを目指し、市民により関心を持ってもらえるような事業の展開を大いに期待したい。また、1期目に構築した市民との信頼・協力関係をさらに発展させ、市民にとってより利用しやすい施設となるよう創意工夫に努めていただきたい。 施設の維持管理については、引き続き適正な管理を行っていくとともに、今後想定される施設の大規模改修等についても、市と協力して調査・検討を行っていただきたい。 26年度は、施設利用料の見直しに伴い減免の規定を改正したため、25年度と比べ利用件数は減少したものの、利用人数は増加した。今後も利用者動向に注視したい。 	

5 総合評価										
公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など効率的な運営		安定的な施設サービスの継続的な提供		施設の特長によるサービス提供		A期待大きく上回る B期待以上 C期待通り D期待やや下回る E期待下回る
・公平性の確保	B	・サービスの維持向上 ・施設の維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・利用者の評価 など	B	・効率的な運営(経費節減)など	B	・業務体制(職員配置・研修等) ・指定管理者の安定性など	B	・公の施設の設置目的の達成など	B	

6 二次評価	
安定した事業内容、利用者数が保たれており、また事業展開においても工夫し、好評を博している点は評価できる。今後も利用者数の増加や満足度の向上につながるような魅力ある事業の展開を期待する。	評価 B(期待以上)